

京都の星空を子どもたちとみつめていきたい
～100年を超えて未来へ～

京都大学
花山天文台の
観望会継続のために
ご支援を！

京都大学花山天文台は、1929年創立の歴史ある天文台です。これまで市民向けの教育普及活動で活躍してきました。

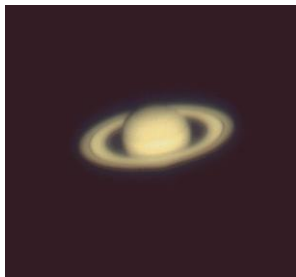
本館の「45cm屈折望遠鏡」は、屈折望遠鏡としては国内三番目の大きさを誇り、市民向けの観望会で大人気です。月のクレーターや土星の環、木星とガリレオ衛星をみることができます。望遠鏡を覗く場所(接眼部)が高所であるため、高所作業車(リフト)を利用していますが、老朽化が進んでおり、安全安心な観望会に不可欠なリフトの更新を本年度初頭に急遽決定しました。花山天文台は、京大天文台基金を通じて皆さまからいただいた寄附金により運営されています。リフト(495万円)の購入により、運営費(人件費など)が大きく圧迫されるためクラウドファンディングを実施します。

今回の活動を通じて、多くの方に花山天文台を知っていただき、観望会の継続的な開催を支援していただければ幸いです。これからも100年を超えて、皆さまに愛される天文台として存続していけるように、天文台運営費にぜひご支援をよろしくお願い致します。

期間：2025年9月16日から11月15日
目標金額：300万円



https://readyfor.jp/projects/kwasan_kyoto-u



45cm屈折望遠鏡で撮影した
月(左)と土星(右)



花山天文台では定期的に見学会、観望会を開催しています。
<https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/open/kwasan/donichi.html>
<https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/open/kwasan/hosizora.html>